私たちの町、どうなってる？

議員が質した 257のこと

決算審査は、各常任委員会に付託され合計4日間の詳細な審査を行い認定するか否か議員が判断します。特色のある事業をピックアップし、執行部との熱いやりとりの一部をお届けします。

一般会計決算

評価 緊急連絡通信システム 独り暮らし高齢者の安心は

管理委託料 224万9000円

Q システムを利用する場合どのような手続が必要なのか。

A 対象となる方は、高血圧や心疾患、脳血管疾患などにより日常生活において注意を要する外出困難な方で、単身世帯で65歳以上の方または身体障害者手帳・療育手帳を交付されている皆さんです。手続については、希望者の自宅に町職員が訪問し、システムの説明と体調や生活状況の確認を行います。その後、申請書と利用票を提出してもらい、決定後に警備会社が設置します。

Q 設置後の活用の仕方は。

A 電話回線に接続する緊急通報装置を設置し、ボタンを押すと、24時間体制でセンターに通報され、救急車の要請や緊急連絡先への連絡ができます。



本体とペンダント式の子機があります

評価 避難行動要支援者名簿 災害発生時の備えと機能は

作成委託料 7万9000円

Q 名簿の作成の手順は。

A 災害発生時に備えるため、要介護者・障害者・一人で避難することが困難な方で「届出書兼同意書」の提出者を「避難行動要支援者名簿」に登録します。それを元に避難経路等を示した個別計画書を作成し、毎年、本人や家族に確認し更新しています。

Q 地域ごとの人数や名簿の活用は。

A 名簿に登録いただいている方は、全体で537人です。このうち支援者がいないとして登録されている方が72人います。内訳は、小川地区が31人、大河地区が15人、竹沢地区が14人、八和田地区が12人です。区長や民生委員・児童委員、関係機関で共有し、有事の際に災害から要支援者を守るために役立てています。



9月熊本市に災害支援で派遣された町職員の豊田さん

評価 期待 公共施設の総合管理 最適な施設配置の実現を

公共施設等整備基金積立金 1億5000万円

Q 公共施設等総合管理計画期間は30年。現在の進捗は。

A 令和26年までに公共施設の延床面積を58％削減する計画で、令和7年3月31日時点の進捗率は約3％です。

Q 廃校となる学校施設を残したいという意見を聞くが。

A 地域住民に対し現状を理解してもらえるよう努めながら進めていきます。

Q 前年度の4000万円と比べて大幅な積み立てをしたが。

A 今後予定される総合福祉センターの集約再整備と新学校給食センター等の施設整備を優先し、基金に積み立てています。令和7年度末の残高は6億7559万円となりました。

若い世代の移住促進や企業誘致、廃止された施設などの売却等で財源確保を図ります。また、歳出改革による取組との両輪で、持続可能な財政運営を目指します。



奥田政策推進課長

評価 舗装修繕工事 計画的な町道の維持・修繕を

事業費 3471万7000円

Q 工事箇所は。

A 令和7年度は次の3路線で舗装修繕工事を実施しました。
①町道118号線（警察官舎付近）約151メートル
②町道119号線（柳町橋付近）約397メートル
③町道122号線（本一交差点から踏切まで）約255メートル。

Q 町民から「道路を直してほしい」という要望は多いが、選定には一定の決まりはあるのか。

A この事業は「公共施設等適正管理推進事業債」を活用しています。そのため「舗装修繕個別施設計画」を策定しなければならず、その計画を作る際に「路面性状調査」を実施し、舗装の状態（ひび割れ・わだち）を数値化して、優先順位をつけて工事を実施します。現在は、令和2年度に個別施設計画を策定し、令和3年度から工事を実施しています。



町道122号線の舗装修繕工事。きれいな道で、事故を防ぐ効果も

9月定例会の会議録は令和8年12月上旬から見られます。二次元コードからインターネットで［小川町議会 会議録］と検索

知っておきたい！この数字

Pick up!

避難行動要支援者 登録者数
537人

公共施設等総合管理計画 達成率
3％

小川町議会だよりは 見出しにコダワル！ 内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

つづく